

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第 118 回定例会
日 時	2021 年 11 月 28 日 10:00~12:00
場所	山梨大学医学部地域医療学講座設定 zoom
参加者 イニシャル	M.H H.K H.M M.M N.M K.M K.K K.M H.R Y.Y K.M N.H W.N (計 13 名) オブザーバー：山梨大学医学部地域医療学講座 佐藤 弥 教授

議 題	1、あいさつ 2、最近どう？ 3、司会進行自薦・他薦 4、事例検討 5、ピアサポートで困ったこと 6、その他 7、佐藤教授からの総括
-----	--

議事内容
<p>1. について</p> <p>コロナ禍が落ち着いている中、コロナ第 6 派の予感や、オンラインで話ができることのありがたさなどを皮切りに定例会を開催した。</p> <p>2. について</p> <p>全員が身の回りで体験したことや気がかりなどを発言した。インフルエンザワクチン接種の話もあり、皮下注射で行った人や筋肉注射で行った人など様々だった。また、自宅からではなく、旧ボランティアセンターの貸し会議室を低料金で借りて Wi-Fi 環境の充実した中で参加している方の情報も得た。みんなそれぞれに感染対策をしつつも、以前にちかい交流をし始めている様子がうかがえた。オンライン開催の利点として、多少の体調不良でも参加できることが挙げられた。この日もあまり体調が良くない方もおられたが、2 時間の参加が可能だったので良かった。</p> <p>3. について</p> <p>自薦で K さんが引き受けてくれた</p> <p>4. について・・・1 例あり</p> <p>母（患者）に関する娘からの相談。夫と暮らしている。家族として K さんか対応。漠然とした不安と、遺伝に関する心配。罹患後引きこもりがちであることも心配。家族として抗がん剤の副反応も心配している。脱毛に関してのサポートは体験者から行った。遺伝に関する情報なども、国立がん研究センター情報サービスを紹介。その他、がん相談支援センターを利用するのも良いかもしれないとの案が出た。親子であるがゆえの遠慮もあるかもしれないので、その点の配慮も必要。</p> <p>この事例で取り上げられた「遺伝性腫瘍」「家族性腫瘍」のキーワードから、遺伝子検査を体験したメンバーの話を聞き、それぞれの体験知となった。遺伝子検査はまだスタートしたばかりの分野であるため、過度な期待をせず、これらの相談があった場合は主治医やがん相談支援センターに振ることが最適かもしれないとの話</p>

が出た。

5, について

SNSなどで、個人的に相談された場合の対応について話し合った。基本は「がん患者サポートセンター」への誘導を強く勧めることを確認した。

あくまでも一人で背負わないこと。

6, について

① 12月5日(日)「のぞみの会リアル交流会」開催 交流ルーム101 13:00~16:00

参加者は次回定例会までにメール担当者にお申し出ください。

当日参加もOKですが、感染対策のためなるべく事前にお申し込みください。

② 12月4日(土)がんフォーラム山梨完全オンライン公開講座

テーマ:『AYA世代のがんと成人に多いがん・「肺がん」そして治療とお金』の話です。

申し込みは「NPO法人がんフォーラム山梨ホームページからできます。事務局花水木からでもOKです

③ FFJCP参加希望者:2名決定

④ 山梨県がん相談支援就労問題について県で進行していることを代表から報告。委員として、当会から合計3名が入っていることも報告した。

⑤ 山梨県がんリハビリテーションワーキング会議も進行していて、がんのリハビリテーションが多少は進展していく気配があることを報告した。

⑥ 12/17 リレーフォーライフフルミネリエ:ホームページから申し込みできることの情報提供があった。

⑦ NPO法人がんフォーラム山梨のチャリティ基金として、当会から予定通りの寄付をすることで賛同を得た。

7, 佐藤先生総括

遺伝性のがんに関しては、スタートしたばかり。これからの展開に期待する状況です。

サポートに関し、個人的なつながりは極力避けること。SNS等の広がりにつながりやすい機会が多いと思うけど、入り込みすぎてしまうことは避けた方がよい。みなさん、気をつけましょう。

定例会 次回予定	第119回定例会 2021年 12月19日(日) 10:00 ~12:00 URLは追って連絡 2021年最後の定例会です。
-------------	---

司会: K.M

文責: わかお